



❖ IPA、「情報セキュリティ10大脅威 2021」を公開 ❖

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)が、「情報セキュリティ10大脅威 2021」を公開しました。

組織の順位では、「ランサムウェアによる被害」が1位となりました。昨年8月にIPAは、ランサムウェアを用いた新たな攻撃の手口として「人手によるランサムウェア攻撃」と「二重の脅迫」について注意喚起を行いました。従来はウイルスメールをばらまくなどの方法で広く無差別に攻撃が行われていましたが、新たな攻撃者は、明確に標的を企業・組織に定めています。標的型攻撃と同様の手法で企業・組織のネットワークに侵入したり、データを暗号化するだけでなく窃取して公開すると脅したりして身代金を支払わざるを得ないような状況を作り出します。昨年は国内企業への攻撃も報道され、大きな話題となりました。新たなランサムウェア攻撃は、標的型攻撃と同等の技術が駆使されるため、例えば、ウイルス対策、不正アクセス対策、脆弱性対策など、基本的な対策を、確実かつ多層的に適用することが重要です。

また、「テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃」が初登場で3位となりました。昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、感染症対策の一環として政府機関からテレワークが推奨されました。テレワークへの移行に伴い、自宅などからVPN経由で社内システムにアクセスしたり、Web会議サービスを利用したりする機会が増えました。また、私物PCや自宅ネットワークの利用や、初めて使うソフトウェアの導入など、以前までは緊急用として使っていた仕組みを恒常的に使う必要性がでてきました。こうした業務環境の急激な変化を狙った攻撃が懸念されています。基本的な対策のほか、テレワークの規定や運用ルールの整備、セキュリティ教育の実施などが重要です。

■「情報セキュリティ10大脅威 2021」

NEW : 初めてランクインした脅威

昨年順位	個人	順位	組織	昨年順位
1位	スマホ決済の不正利用	1位	ランサムウェアによる被害	5位
2位	フィッシングによる個人情報等の詐取	2位	標的型攻撃による機密情報の窃取	1位
7位	ネット上の誹謗・中傷・デマ	3位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	NEW
5位	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求	4位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4位
3位	クレジットカード情報の不正利用	5位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	3位
4位	インターネットバンキングの不正利用	6位	内部不正による情報漏えい	2位
10位	インターネット上のサービスからの個人情報窃取	7位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	6位
9位	偽警告によるインターネット詐欺	8位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	16位
6位	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害	9位	不注意による情報漏えい等の被害	7位
8位	インターネット上のサービスへの不正ログイン	10位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	14位

-IPA(独立行政法人情報処理推進機構) : 「情報セキュリティ10大脅威 2021」より-

今月の豆知識

～ 2021年の節分は2月2日です！



節分は二十四節気の一つの立春の前日の「2月3日」との認識が多いと思いますが、2021年の節分は2月3日ではなく、2月2日となります。

国立天文台によると、3日でなくなるのは1984年2月4日以来37年ぶり、2日になるのは1897年2月2日以来124年ぶりだそうです。

暦上1年は365日ですが、地球が太陽の周りを1周するのにかかるのは365.2422日。実は365日より長くかかっている、時間になるとプラス5時間49分。この時間のズレを4年に1度のうるう年で調整していますが、それでも端数分のズレが残ってしまいます。この時間のズレが積み積み積もった結果、今回のように立春が1日早まり、結果、節分が2月2日になったということらしいです。

2021年の恵方は「南南東」です。

節分に「豆まき」をする方もいると思いますが、消費者庁から豆等による誤嚥・窒息の予防のための発表がありました。

奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分でない子どもが豆やナッツ類を食べると、のどや気管に詰まらせて窒息してしまったり、肺炎を起こしたりするリスクがあるということで、**5歳以下の子どもには硬い豆やナッツ類は食べさせないで**と注意を呼び掛けています。





赤松事務機株式会社
代表取締役 片松 保佳

『社長のつぶやき』

VOL.39

2月になりました。2021年に入って1ヶ月が終わりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか？2月に入って風の強い日が多いような気がします。「今月の豆知識コーナー」でも触れておりますが2月3日に立春を迎え旧暦ではこの日が一年の始まりとされており、2021年は「風の時代」と言われています。風が強いのはそのせいかなと思いつつ日々を過ごしております。

一年前の2020年2月までは積極的に県外の出張に出ていました。日頃お会いできない同業の経営者様・取引メーカーの幹部の方々・展示会での新しいサービスや商品の確認など。。。外に出ないと得られないものはとても大きかったように感じます。それから一年が経ち、なかなか外に出れない日々が続いておりますが、zoomなどに代表されるオンラインミーティングアプリを使って遠隔地の方との打ち合わせやセミナーなどが頻繁に行われるようになりました。そのおかげで実際の出張に出なくともコミュニケーションが取れ、打ち合わせ・会議が成り立つようになり現在はこの手法が主流となっています。それを一年間続けてきたのですが。。。何か足りない。何かスッキリしない。と感じております。私たちの仕事はお客様先やお取引様先に「お伺い」して課題解決のお手伝いをする事です。実際のお会いしてお話するだけではなく「空気感」「声のトーン」「顔色」「オフィスの風景」「そこに到着するまでの景色」そのすべてを無意識のうちに見て、感じて、自分なりに判断してお会いした方とお話しています。オンラインでは「声のトーン」「(かろうじて)顔色」しか判断できません。うまく表現できないのですが「一人ひとりの人間が持っているその人固有の人間味のようなもの」が圧倒的に伝わらない(伝わってこない)のです。よくよく考えてみるとカメラとマイクだけから入ってくる情報量と実際に会って話をして入ってくる(感じる)情報量は全く違うのは当然のことです。私たちは視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の五感(第六感と呼ばれるものもありますが)をフル稼働させて物事を判断しています。ミーティングアプリに「違和感を感じる」のは日頃使える感覚が「使えない」ことから来ているのだなとやっと理解できました。非常に便利なツールですが必要に応じての使い分けが重要であると感じております。

早く「行きたいときにどこでも行ける」状況になるように願いつつ、現状を踏まえて一步一步歩みを進めていきたいと思っております。皆様におかれましては体調等を崩されませぬよう、ご自愛下さい。

IT用語

知っておいて損はしない!かも・・・

■ キャプチャ ■

ディスプレイに表示されている画面を画像ファイルとして保存することです。

【画面全体をキャプチャ】

「Windows」キー+「PrintScreen」キーを押します。

⇒「ピクチャ」フォルダー内の「スクリーンショット」フォルダーに自動的に保存します。

【画面の必要な部分だけを範囲選択してキャプチャ】

「Windows」キー+「Shift」キー+「S」キーを押すと、切り取りの種類を選択するメニューが表示されるので任意のアイコンをクリックし必要な部分を範囲選択したら、ツールバーの「 (名前を付けて保存)」をクリックし保存します。

弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております！
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧頂ければと思います!!!
対策は早目にしましょう！

